

第269回研究科委員会・第385回教員会議 議事要録

日 時：令和7年3月13日（木） 研究科委員会 12:50～13:30／教員会議 13:30～16:20

場 所：後援募金記念棟 会議室 1－3

議 題

◆研究科委員会◆

〔審議事項〕

1. 研究科長

（1）客員教員（ハイテクプラザ）の任用について

プロジェクター投影に基づき説明があった。2名について、客員准教授の継続の提案があった。特に質問等は出ず、提案通り承認された。

（2）FREA 客員教員の任用について

プロジェクター投影に基づき説明があった。令和6年度からの3名（客員教授1名、客員准教授2名）が継続、1名が新たな客員准教授として提案があった。人事委員会では履歴書や研究業績を確認済である。特に質問等は出ず、提案通り承認された。

（3）学内諸規則等の制定手続きの見直しについて

資料1に基づき説明があった。資料の右側が改正（案）、左側が現行である。それぞれ「改正主旨」に説明が書かれている。特に質問等は出ず、提案通り承認された。

2. 教務委員会

（1）博士論学位審査について（投票）

初めに定足数の確認があり、それを満たしていることが確認された。委員長より進め方について説明があった。その後、まず、主査から回収資料に基づきA氏について審査結果の説明があった。特に質問等は出ず、投票を行った。次に、主査から回収資料に基づきB氏について審査結果の説明があった。特に質問等は出ず、投票を行った。いずれの投票も記名式で行われた。

投票の結果、投票総数は両者とも49票で、氏については賛成49票・反対0票、B氏については賛成49票・反対0票であった。この結果、上記2名への学位授与が承認された。

（2）令和7年3月修了判定について

回収資料に基づき説明があった。資料について時間をとって確認した。その結果特に質問は出ず、提案通り53名（内、共生システム理工学専攻51名、環境放射能学専攻2名）の修了が承認された。

（3）長期履修学生申請について

資料2に基づき説明があった。前期課程1名、後期課程2名の申請があった。特に質問は出ず、提案通り承認された。

（4）令和7年度学修案内について

資料3に基づき説明があった。前年度の学修案内と大きな変更はないが、「再生可能エネルギー先駆けの地支援プログラム」が追加された。気づいた点があれば、会議終了後に教務委員長あてに連絡してほしいとの依頼があった。

（5）研究指導教員の変更について

プロジェクター投影により説明があった。特任講師の転出による変更である。特に質問は出ず、提案通り承認された。

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 令和7年度新入生ガイダンスについて

資料4に基づき説明があった。大学院生の研究指導計画作成についてもよろしくお願ひしたいとの付言があった。

(2) 第129回全学教務協議会について

(審議事項)

・令和7年度非常勤講師計画(全体版)について

資料5に基づき説明があった。理工関係の計画は資料5-6に掲載されている。

(報告事項)

・JASSO大学院奨学金返還免除対応の実習科目開講について

資料6に基づき説明があった。学校教員の不足が背景にある。標記の免除に応募するためには「学校等での実習」を内容とする科目の単位取得が必要である。そこで、1単位の「教育実践実地研究」を立ち上げた。

2. 学生生活委員会

(1) 令和6年度3月期学生表彰について

資料7に基づき説明があった。団体が4件、個人が4件である。個人4件とも表彰該当者は理工関係であり、「優れた研究業績をあげた学生等」の内訳は博士前期課程院生2名、学類生1名である。

(2) 令和6年度学生生活実態調査について

資料8に基づき説明があった。毎年行われている調査である。回答者数は1,083名で回収率は25.0%であった。詳細は報告書をご覧いただきたい。

最後に、教務委員長から、学位取得学生を指導された博士指導教員への感謝が表明された。

◆教員会議◆

[審議事項]

1. 学類長

(1) 教員の昇任について

1) 教員資格調査委員会の調査報告について

回収資料に基づき対象者2名について説明があった。

2) 昇任候補者の決定について(投票)

無記名投票であることがアナウンスされ、投票が実施された。この結果、両氏の教授への昇任が認められた。

(2) 客員教員の任用について

プロジェクター投影により説明があった。客員教授5名(内、4名は継続、1名は新規)、客員准教授1名(継続)の申請である。人事委員会では承認されているとの付言があった。特に質問等は出ず、提案通り承認された。

(3) 客員研究員の任用について

プロジェクター投影により説明があった。継続1名の申請である。人事委員会では認められているとの報告

があった。特に質問等は出ず、提案通り承認された。

（４）研究員（プロジェクト）の任用について

プロジェクター投影により説明があった。継続１名の申請について、人事委員会では認められている。特に質問等は出ず、提案通り承認された。

（５）特任教員の申請

プロジェクター投影により説明があった。継続１名の申請について、人事委員会では認められている。特に質問等は出ず、提案通り承認された。

（６）学内諸規則等の制定手続き見直しについて

資料１に基づき説明があった。すでに研究科委員会の審議で説明があった。特に質問等は出ず、提案通り承認された。

（７）令和７年度委員会名簿（案）について

資料９に基づき説明があった。何かあれば、学類長および評議員に早めに連絡してほしいとの付言が学類長からあった。

２．教務委員会

（１）令和７年３月卒業判定について

回収資料に基づき説明があった。平成３０以前入学生の卒業予定者数は１名、それ以降の入学生の卒業予定者数は１５１名である。提案通り承認された。

（２）非正規生（科目等履修生）の受入れについて

プロジェクター投影により説明があった。４名から申請が出ており、提案通り承認された。

（３）共生システム理工学類規程の一部改正について

資料１１に基づき説明があった。９コースから４コースへの移行に伴う改正である。別表１で人数（目安）が示されている。また、科目名の変更等も記されている。気づいた点などがあれば指摘してほしいとの依頼があった。

（４）令和７年度非常勤講師計画について

資料１２に基づき説明があった。トータルの時間数は１，２６６時間となっており、今年度の８８６時間と比べて増えている。これは、これまで特任教員が担当されていた授業が非常勤講師による対応となるためであるが、今後は旧カリ科目がなくなるので減少する見通しであるとの補足説明があった。

（５）令和７年度学修案内について

資料１３に基づき説明があった。４コース制や科目変更などが反映されている。黒星や白星マーク等がついた科目の説明があった。特修プログラムは新年度から２つ増えるとの付言があった。教員免許関係では、技術と工業が削除された。公認心理士の記述も削除となった。３セメでの「環境放射能学概論」の開講について了解したとの発言があった。

３．学生生活委員会

（１）授業料未納による除籍について

資料１４に基づき説明があった。現在４名の未納者がいる。今後の対応スケジュールについても説明があった。とくに質問等はなく、提案通り承認された。

〔報告事項〕

1. 学類長

（1）水素エネルギー総合研究所の大型プロジェクトについて

資料10に基づき説明があった。学類長から、まず、高度情報専門人材やSPRINGなど学類の大きな取り組みについての概要説明があった。つぎに、水素研に関係する概算要求、内閣府交付金（福島県）、地域中核（山梨大学）についての説明があった。それぞれの予算による人件費や施設整備費について説明があった。内閣府交付金では、水素研新棟の建設や共通棟改修、廃校予定学校整備が予定されている。内閣府交付金の設備費としては、パイロットプラントのほか、令和7年度には1億円以上の予算がつく計画となっている。廃校予定の学校には、ゼロカーボン先端科学センターの設置が計画されている。3つのプロジェクトの体制案も検討している。人員確保が大切であり、人を雇う計画についても、教員のみなさんのご協力を得たいとの付言があった。

教授から、概算要求プロジェクトについて説明があった。すでに令和6年度からスタートしている。人件費がつくことが重要であり、令和6年度の2名に加えて令和7年度も新たに2名採用できる。他学類からも兼任教員が入っており、令和7年4月より所長を含めて17名の体制となり、さらに新年度中に2名加わる予定である。このように、拡充しながら運営している。概算要求と内閣府・地域中核と連携していく建付けになっている。

所長から、内閣府事業の概要について説明があった。福島県と福島大学のプロジェクトである。令和6年度第2回での採択となった。令和11年度まで国費支援が得られる。実施内容の全体像やポイントの説明があった。施設整備の概要や事業のスケジュールの紹介もあった。

学類長から、質問や意見等があれば出してほしいとの依頼があった。また、4月9日には大学の記者会見が予定されているとの付言があった。

（2）令和6年度ストレスチェックについて

資料15に基づき説明があった。毎年1回報告しているものである。

2. 教務委員会

（1）学生の退学について

プロジェクター投影により説明があった。2名が2月末で退学となった。

（2）令和7年度新入生ガイダンスについて

資料4に基づき説明があった。ガイダンスは4月4日（金）の入学式後から始まる。新1年生のグループアドバイザーになる先生には、対応をよろしくお願いしたい。学類長から保護者懇談会での教員紹介についてお願いしたいとの依頼があった。今回から4コースごとの教員紹介になるとの付言があった。

（3）令和7年度コース所属について

資料16に基づき説明があった。171名が所属となった。第1希望で所属となった学生は147名である。

（4）第129回全学教務協議会について

（審議事項）

・令和7年度非常勤講師計画（全体版）について

資料5に基づき説明があった。すでに研究科委員会で説明済みである。

（報告事項）

・優秀初年次レポートの公開について

資料17に基づき説明があった。

- ・卒業時DP評価の実施について

資料18に基づき説明があった。現在、教員に入力を依頼中である。3月24日までに教員評価を入力してほしい。昨年度、理工学類教員の入力率は高かったので、今年度もよろしく願いたい。

3. 学生生活委員会

- (1) 令和6年度3月期学生表彰について

資料7に基づき説明があった。すでに研究科委員会で説明済みである。

- (2) 令和6年度学生生活実態調査について

資料8に基づき説明があった。すでに研究科委員会で説明済みである。

4. 国際交流センター

- (1) マレーシア政府派遣留学生（学部留学生）の受入れについて

資料19に基づき説明があった。全学で3名の留学生を受け入れることになっており、そのうち1名は理工学類で受け入れる。

5. 奨学寄附金の受入について

共同研究2件、奨学寄附金3件の受け入れの報告があった

[アナウンス]

1. 教務委員会

- (1) 正規試験について

資料20に基づき説明があった。臨時教員会議で不正問題について議題になった。監督者心得を提示するので、改めて確認をお願いしたい。

◆教育研究評議会◆

○第428回（2月18日開催）報告

【議題】

- (1) 【審議】ガバナンス見直しワーキングチームにおける検討及び改善案について

＜資料1＞に基づき説明があった。教員会議での意見聴取実施後の決定についてである。各学類から意見が出され、理工学類の意見が紹介された。検討チーム①および②の改善案が紹介された。副学長の選考については理工学類からの意見が反映されず、学長が直接選考を行うこととなった。

- (2) 【審議】学内諸規則等の制定について

＜資料2＞に基づき説明があった。新規2件、廃止が1件ある。新旧対照表の内容が紹介された。理工学類の収容定員増加に伴う変更や教員免許における技術・工業の廃止も反映されている。就業条件検討委員会も廃止となる。事務組織名が変更される。研究科長選考の経過措置も廃止され新たに選考規則が制定される。ハラスメント規程では定義が明記された。理工学類の4コース名が明記された。SPRINGの規程も整備された。

- (3) 【報告】国立大学法人東北大学と福島大学とのクロスアポイントメント制度に関する協定書の締結について（継続）

＜資料3＞に基づき説明があった。食農学類の特任教授の継続についてである。

- (4) 【報告】ウィーン工科大学と環境放射能研究所との学術交流に関する覚書の締結について

＜資料4＞に基づき説明があった。部局間の覚書の締結である。5年間有効で、その後延長可能となって

いる。

(5) その他情報共有等
臨時評議会を3月4日に開催するとのアナウンスがあった。

○第429回(3月4日開催) 報告

【議題】

(1) 【報告】学士課程改革に係る文科省事務相談について
＜資料1＞に基づき説明があった。人社系新学部についての事務相談の報告である。定員400名で1学部1学科制(「政経学部政経学科」)の提案がなされた。理工の一部科目が「文理融合科目」として入っている。色々な宿題を文科省からもらったので、今後、さらに文科省と事務相談を行い、4月9日に学士課程改革に関する記者会見が行われる。

(2) 【審議】学士課程改革に関する記者会見資料について
＜資料2＞に基づき説明があった。

◆運営会議◆(学類長)

○第205回運営会議(3月4日開催) 報告

【議題】

(1) 【報告】ハラスメント・ゼロ対策ガイドラインの改正について
＜資料1＞に基づき説明があった。ハラスメントの定義に目を通しておいてほしい。最終ページの「流れ」について、「調整依頼」や「調整」のプロセスが入った。

(2) 【報告】「学長・理事・副学長に係る授業等の取扱い」の一部改正について
＜資料2＞に基づき説明があった。詳しくは資料2-1に記載されている。

(3) 【報告】次年度以降の運営会議の変更点について
＜資料3＞に基づき説明があった。非常勤理事を正規委員として追加する。理工学類長は反対し、IER所長を追加するように提案した。

(4) 【その他】来年度の会議スケジュールについて
＜資料4＞に基づき説明があった。来年度の運営会議のスケジュールである。

(5) その他情報共有等
とくになし。

難波教授から、IERのイベント紹介があった。IAEA主催のアジア・太平洋地域の31名(受講生26名とIAEA側メンバー5名)を招いて講習が行われる。ゲルマニウム検出器を使うので、研究実験棟1階にIAEA関係者の出入りがある。ご承知おき願いたい。

学類長から、次回の教員会議は3月19日(水)10:00～から、一般選抜後期の判定が議題で開催されるとのアナウンスがあった。